

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、リモート ホストが公衆電話交換網 (PSTN) ダイアルアップ回線の伝送制御プロトコル (TCP) ネットワークを介して X.25 に接続する設定例を紹介します。ホストは、X.25 パケットを送受信しません。ただし、接続するリモート ルータは、X.25 パケット アセンブラ/ディスアセンブラ (PAD) として機能し、ホストの X.25 パケットをカプセル化およびカプセル化解除します。

注これは「逆パッド」と X25 コールが非同期 ホストへの X25 デバイスからしか (サーバ) 確立することができないと同時に逆に言われます。前方パッドは異なる構成を必要とします。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

Protocol Translation サービスで使用できる PAD 関係の機能性への機能拡張は Cisco IOS® ソフトウェア リリース 11.2 でもたらされました。

次のプラットフォームは PAD 機能拡張をサポートします:

- Cisco 2500 シリーズ ルータ
- Cisco 26xx シリーズ ルータ
- Cisco 36xx シリーズ ルータ
- Cisco 4000 ルータ

- Cisco 4500 ルータ
- Cisco 4700 ルータ
- Cisco AS5200 シリーズ ルータ
- Cisco 7000 シリーズ ルータ
- Cisco 7200 シリーズ ルータ
- Cisco 7500 シリーズ ルータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 背景説明

X.25 over TCP ( XOT ) 上の PAD は X.25 物理的な インターフェイスに到達可能ではない、しかし TCP トンネルにパッド コールを有効にします 宛先に。この機能は X.25 デバイスに到達するために IP リンクのルータから起きるパッド コールを有効にします。PAD over XOT はまた PAD として受け入れられるべき IP リンクからの着信 XOT 接続がローカルルータの Protocol Translation 接続を有効にします。

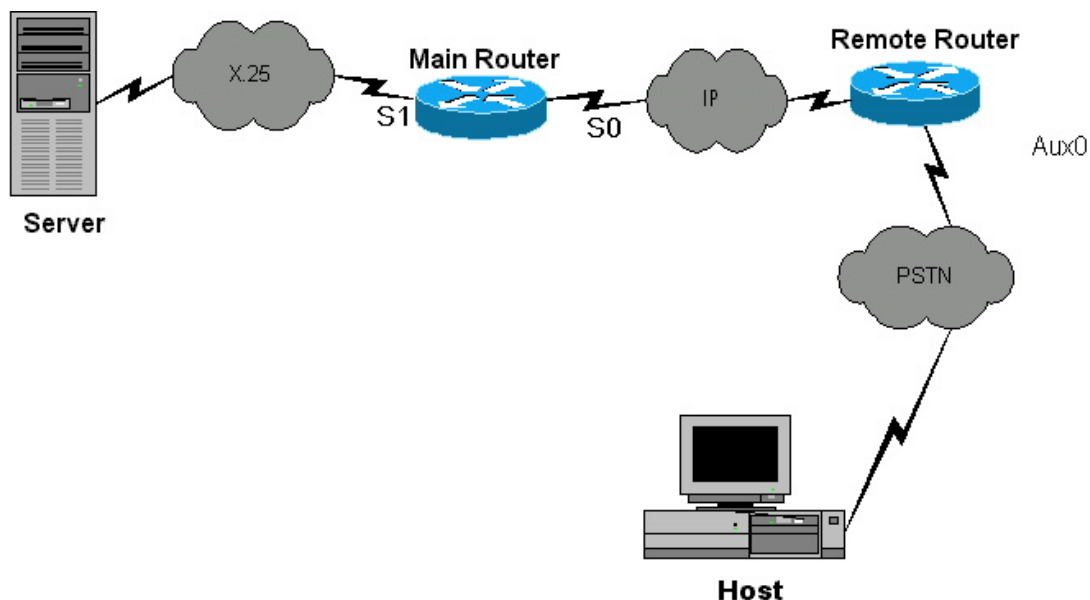
## 設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



## 設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

リモート ルータ
メイン ルータ

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

### トラブルシューティングのためのコマンド

特定の **show** コマンドは、[Output Interpreter Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) によってサポートされています。このツールを使用すると、**show** コマンド出力の分析を表示できます。

注 コマンドを使用する前に、[『debug コマンドの重要な情報』](#)を参照してください。

- **debug x25 events** か。X.25 すべてのトラフィックまたは X.25 特定のサービス クラスについての情報を表示する。
- **debug pad** か。すべての PAD 接続のためのデバッグ メッセージを表示する。

次のデバッグ 出力はサーバからのホストへの X.25 正常なコールのために表示する。リモートルータのこれらの debug コマンドを実行しました。

```
Remote#debug x25 eventsRemote#debug padWORKING CALL2d01h: pad_ctxt_up: id 808D6F18, reason
80742B9C (event 0, impetus 10)2d01h: [10.10.100.1,11042/10.10.100.2,1998]: XOT I P/Inactive Call
(20) 8lci 12d01h: From (5): 10006 To (5): 250992d01h: Facilities: (6)2d01h: Packet
sizes: 128 1282d01h: Window sizes: 2 22d01h: Call User Data (4): 0x01000000 (pad)2d01h:
PAD: incoming call to 25099 on line 5 CUD length 42d01h: PAD: Creating TTY daemon on tty5 for vc
12d01h: [10.10.100.1,11042/10.10.100.2,1998]: XOT O P3 Call Confirm (5) 8lci 12d01h: From (0):
To (0):2d01h: Facilities: (0)2d01h: PAD5: Call completed2d01h: PAD5: Output X29 packet type 4
(Read X.3 param) len 12d01h: PAD5: Control packet received.2d01h: PAD5: Input X29 packet type 0
(Parameter indication) len 451:1, 2:1, 3:2, 4:0, 5:0, 6:5, 7:2,8:0, 9:0, 10:0, 11:14, 12:1,
13:4, 14:0, 15:1,16:8, 17:24, 18:18, 19:2, 20:255, 21:7, 22:0,2d01h: PAD5: Setting ParamsIn,
length 442d01h: PAD5: Output X29 packet type 6 (Set and Read) len 9 2:0, 4:1,15:0,7:21,2d01h:
PAD5: Control packet received.2d01h: PAD5: Input X29 packet type 0 (Parameter indication) len 9
2:0,4:1, 15:0, 7:21,
```

## 関連情報

- [X.25 テクニカル ティップ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)